

観光社会資本の事例

テーマ	自然に満たされ心を癒せる安居渓谷
<p data-bbox="156 349 405 383">【施設の状況写真】</p> <div data-bbox="196 416 703 768"></div> <p data-bbox="172 824 667 958">石積の上に造られたデッキ。溪流を眺めるのに絶好のポイントとなっている。</p> <div data-bbox="892 416 1390 768"></div> <p data-bbox="879 824 1374 1003">景観に配慮した擬岩の床固工。この写真でもわかるとおり本物と区別がつかない。夏でもひんやりとしていてすずしい。</p>	
<p data-bbox="156 1070 405 1104">【施設の利用写真】</p> <div data-bbox="181 1111 707 1462"></div> <p data-bbox="188 1496 676 1585">散歩道から素晴らしい溪流の景観を眺める観光客。</p> <div data-bbox="860 1111 1362 1462"></div> <p data-bbox="855 1496 1337 1585">休憩所として造られた四阿。散歩道の休憩所として利用が多い。</p>	
<p data-bbox="156 1648 549 1682">【観光資源としての利用状況】</p> <p data-bbox="150 1693 1445 1917">安居渓谷における「さぼう」事業は、仁淀川町における安居渓谷県立自然公園の集客に複合的な効果をもたらしました。安居渓谷県立自然公園は、仁淀川町宮ヶ平付近より安居川の渓谷兩岸を含み大滝神社に至る区間にあり、豊かな自然環境を創り出している。新緑の5月や紅葉の10月頃などは、四季折々の自然美を求めて訪ねる県内外からの多数の観光客や、溪流に躍るアメゴ(アマゴ)を求めた釣客が多数訪れる景勝地となっている。</p> <p data-bbox="150 1928 1445 2067">この地域一帯の豊かな自然を背景に安居渓谷は、昭和34年に県立自然公園としても指定されたところである。また、安居渓谷周辺にはキャンプ場、バンガロー等も設置されておりキャンプ利用者等も訪れている。</p>	

テーマ	自然に満たされ心を癒せる安居溪谷
【社会資本の基礎データ】 名称 安居溪谷 所在地 高知県仁淀川町檜山 事業名 水と緑豊かな砂防事業、ふれあい砂防事業 事業主体 高知県 事業期間 平成3年～平成9年	
【社会資本の役割・効果】 ○ 治水効果 安居川流域では、素晴らしい景観がありながらも、本川渓流へは荒れた急斜面の山腹が迫り、溪岸は度重なる洪水により浸食され、かなりの崩壊面が見られていた。溪岸浸食には護岸工で対応し浸食を防ぎました。また、荒廃した山腹については石積擁壁並びに植栽により整備しました。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 http://www.town.niyodogawa.kochi.jp/ http://park23.wakwak.com/houraiso/	